

■調査対象：参加者（84人）

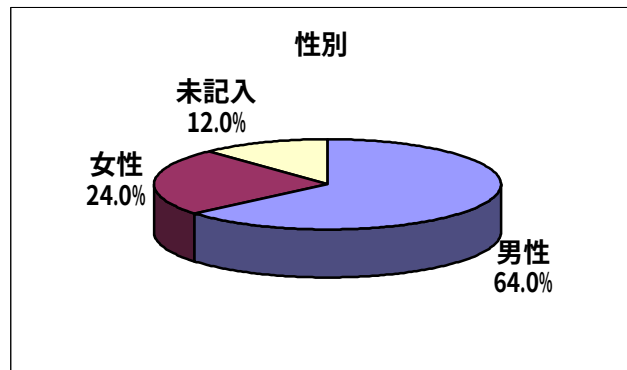
■調査方法：講演会終了後、会場にて回収

■有効回答数：75件 回答率：89.3%

1. 参加者の属性について

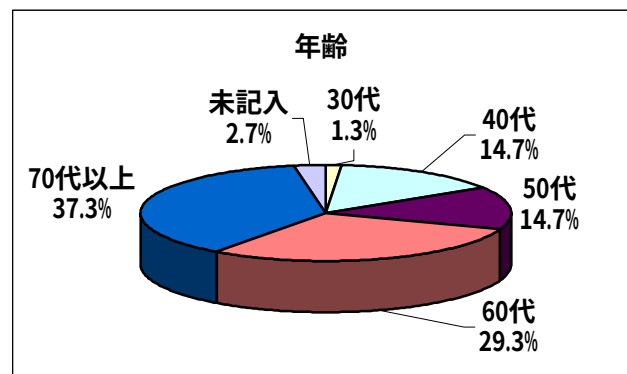
◆性別

	性別	人数	%
1	男性	48	64.0%
2	女性	18	24.0%
3	未記入	9	12.0%
	総計	75	100.0%



◆年齢

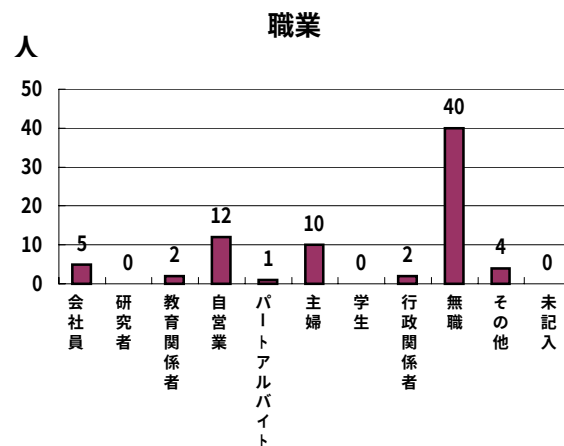
	回答	人数	%
1	10代	0	0.0%
2	20代	0	0.0%
3	30代	1	1.3%
4	40代	11	14.7%
5	50代	11	14.7%
6	60代	22	29.3%
7	70代以上	28	37.3%
8	未記入	2	2.7%
総計		75	100.0%



2. 参加者の属性について

◆職業

	回答	人数	%
1	会社員	5	6.6%
2	研究者	0	0.0%
3	教育関係者	2	2.6%
4	自営業	12	15.8%
5	パート、アルバイト	1	1.3%
6	主婦	10	13.2%
7	学生	0	0.0%
8	行政関係者	2	2.6%
9	無職	40	52.6%
10	その他	4	5.3%
11	未記入	0	0.0%
総計		76	100.0%

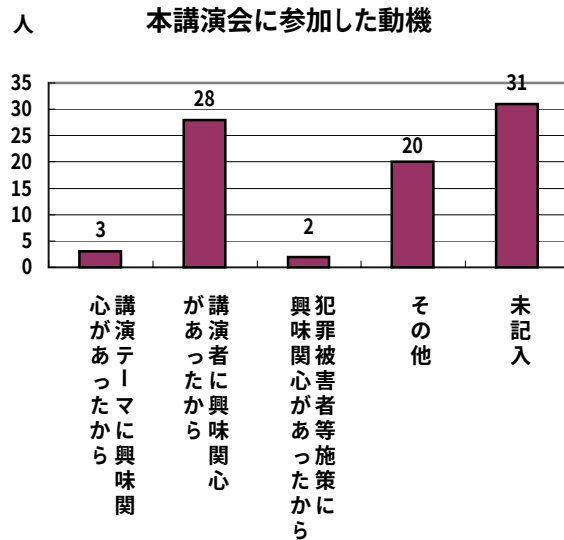


職業その他
幼稚園職員
公務員(自衛官)

3.本講演会に参加した動機についてお答えください。(複数回答可)

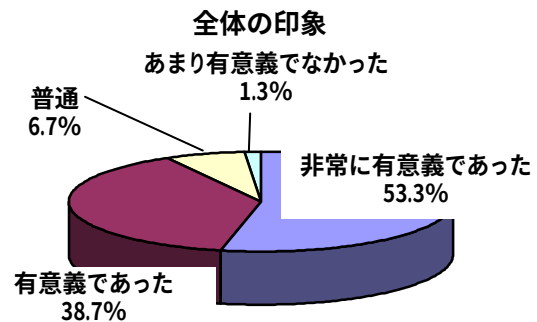
	回答	人数	%
1	講演テーマに興味関心があったから	3	3.6%
2	講演者に興味関心があったから	28	33.3%
3	犯罪被害者等施策に興味関心があったから	2	2.4%
4	その他	20	23.8%
5	未記入	31	36.9%
	計	84	100.0%

その他	人数
防災推進協議会会員	1
協議会の研修会	1
大津警察農子ども安全リーダー事務局からの連絡	1
子ども安全リーダーからの連絡をいただいた	6
学区子ども安全協メンバー	1
案内により	2
安全パトロールの活動をしているため	1
子ども安全リーダー	3
動員	1
行くように言われたから	2
学校から案内があった為	1
よびかけがあったから	1
防災協議会関係	1
子ども安全に関係があるから	1
地域の推薦があった。	1
案内資料でしたから	1
今年PTAを通して子どもの安全を守る協議会に携わったのきっかけ	1
子ども安全リーダーの研修会	2
研修会という事で義務的に	1
地域自主紛失活動の一員として	1
参加依頼であったから	1



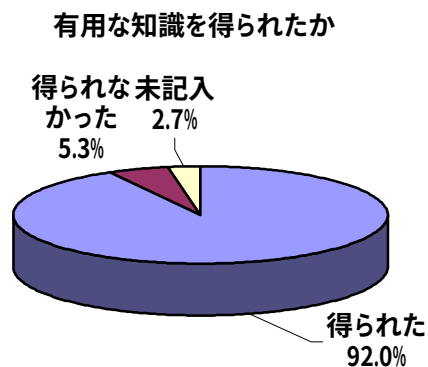
(1) 全体の印象について

	回答	人数	%
1	非常に有意義であった	40	53.3%
2	有意義であった	29	38.7%
3	普通	5	6.7%
4	あまり有意義ではなかった	1	1.3%
5	全く有意義でなかった	0	0.0%
6	未記入	0	0.0%
総計		75	100.0%



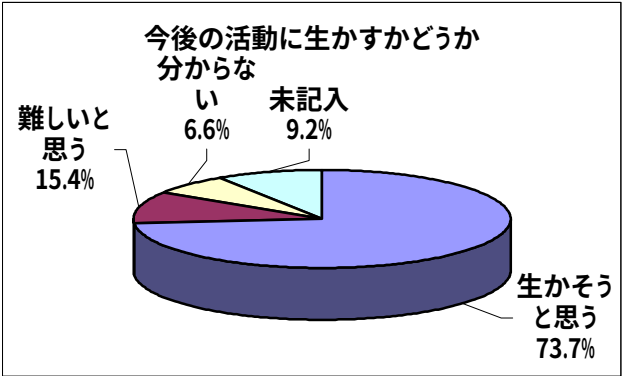
(2) 本講演で有用な知識が得られましたか？

	回答	人数	%
1	得られた	69	92.0%
2	得られなかった	4	5.3%
3	未記入	2	2.7%
総計		75	100.0%



(3)(2)で有用な知識が得られたとお答えの方へ、
本講演で得られた知識を今後の仕事や地域での活動などに生かそうと思いますか？

	回答	人数	%
1	生かそうと思う	56	73.7%
2	難しいと思う	8	10.5%
3	分からない	5	6.6%
4	未記入	7	9.2%
総計		76	100.0%



4. 犯罪被害者等について

(1) 犯罪被害者の現状について、どう思いますか？

回答

- ・初めての体験でしたが、ただただ頑張ってくださいと思うばかりです。これから私個人が何をすべきか。何が出来るかを考え、行動していきます。
- ・私も幼稚園の保護者会20名に対し「児童委員活動について講義の中で、9割の方が核家族であり、質問の中で家に神棚や仏壇のある人は」と聞いたところ、たった1名の方が仏壇や神棚をおまつりしてご先祖に洗礼している回答でした。従って全体として感謝する、お供えする、手を合わせ先祖のお参りを行う人なしで愕然としました。
- ・被害者はいつも弱者となっているのが現状。特に精神異常者、判断能力不能者などによってなされた犯罪被害者はなおさらである。
- ・親であっても子供の考え・行動について、知り得ない部分があり、友達の関係で本人の考え方も成長の過程でよくも、悪くもなるのではないかな。
- ・被害を受けた上に悲しい思いをすることがあると、想像はしていたものの、直接お話が聞けてよくわかりました。
- ・もっと加害者の罪について考え直すことが必要です。
- ・我々もいつ被害者になるかわからない。常に子供の目線で考えなければならない。
- ・被害者の救済が不十分
- ・被害者の知る権利の確立を。
- ・犯罪被害者が肩身のせまい思いをしていて、加害者保護をする必要はないと思います。
- ・目からウロコとか、こんなに驚いたことは初めてであった。随分と考えさせられた。
- ・悲しい事件が発生するたびに、社会の問題だと考えます。
- ・話を聞く機会があればと思う。
- ・権利や人権などいろいろな事で、補償されていない。当事者にならないとなかなか知り、考えるということがない。
- ・よくわからない。今後勉強する。
- ・被害者は加害者に対する被害だけが広く、社会からも被害者になってしまう。矛盾を痛切に感じる。
- ・被害者はあまり報道には出さないし、悲しみや今後どのようにしてほしい、要望等への声を取りあげられない。
- ・少年法ということで加害者は守られ被害者が苦しんでいるということがわかり、改正すべきと思う。
- ・むずかしい。
- ・もっと深い所が知りたい。
- ・大津の打出中学校でも15年前に事件があって担当しました(民生委員で)のでよくわかりました。
- ・現状が犯罪者の社会復帰重視との事で改善が必要と思う。
- ・ニュースで聞いている事を実際に、本人の言葉として聞いて、現実をみた思いがする。
- ・まだまだ泣き寝入りされている感じがする。
- ・加害者のその後の行動を知るべき。
- ・わが子を思うと、非常につらいとおもいます。
- ・もう少し、本人や知人にわかる様にして皆で守ってあげたい
- ・犯罪とは社会のあらゆるひずみの表れだろうか。家庭のあり方、競争社会優先など心を貧しくする社会の中での育ちを思う。
- ・身近な被害者を守りきれないように思う。
- ・援助体制が弱体だと思う。
- ・いつもテレビのワイドショーや週刊誌が興味本位に被害者宅のプライバシー等を映したり書いたりしているのを見て、何かおかしいとずっと思っていた。加害者の方のプライバシーは守られているのにこの現状はおかしいと思う。
- ・特に報道のあり方で、プライバシーが守られていない点をもっと考慮していかなければならないのではと思いました。

回答

- ・被害者の立場の人間は、痛みやその他苦勞があったと思います。少年犯罪は、今後も発生する可能性はあると思われる。
- ・被害にあわれた方本当に気の毒に思います。救済する方法がないのでしょうか。
- ・初めて聴いて貴重な経験であったが、色々なケースを聞いてみたい。
- ・よく話がわかりました。
- ・講演を聞いてて腹の立つ事も多い。加害者が守られているみたいで。
- ・もっと厳しく警察が取り調べるべきだと思う。
- ・まだまだ加害者の人権の方が優先されているおかしい。
- ・被害者の立場となってもくじけず立ち向かえる強い心と力が必要だと痛切に感じました。
- ・思っていた以上に苦しみ社会と戦っておられるのを感じました。

(2) (1) に対して、どのようにすればよいと思いますか？

回答

- ・被害者を出さない為、命の尊さを知る、自覚する、体験する機会を物心ついた幼い頃から、親子が参加し考える様、話し合えるように社会がなってほしい
- ・教育者や学校は、家庭教育が大切だと簡単に言われますが、核家族では家があっても庭のない生活だと思えます。また、小学校の先生に同行して訪問すれば一生懸命に子育てされています。年寄りから教えてもらうことは一杯あるが、一緒に住むのは嫌と返事あり。自分でしつけをしていますといいますが、民法820条818条など理解していない事がわかります。小学校の先生も民法の親権についてわかっていないのでしつけとは勉強。
- ・このような加害者は再犯は大変むづかしいと思われる。ほんの一部の者しか更生できていない。
- ・体験を通しての話であり、身を持って語ってくれ良くわかりました。
- ・加害者のプライバシーを守るなら、それ以上に被害者は守られるべきだと思います。マスコミのやり方も考えてもらいたい。
- ・法を改正すべきです。新聞・報道の取材についても同様。
- ・被害者になるまでの生活環境等反省点を語り、被害をなくすよう行動してほしい。
- ・講師が言っておられるように加害者の保護が重視されている。加害者が未成年であれば家族がきちんと前面に出てあやまるべきである。学校でおきた事件など、校長が頭をさげるのはいかなものか。
- ・法制度等で十分な救済を図るべし ・法律の見直し (少年法等)
- ・犯罪においての加害者の立場をひとつひとつ見直していくこと。
- ・被害者とその家族の意見を聞きながら、家庭・学校・地域の絆について真剣に考え直すことが最も大切。
- ・自分の周りのできる事と考え、少しでも地域にでて子供達とふれる様にしています。
- ・他人事でなく、現状を今回の様に、広く周知していくことで考える人は、確実に増えていくのではないのでしょうか。
- ・わからない。
- ・人を殺せば死刑が当たり前。小さい時から親がおしえる。又は、小学校の時に、道徳教育をおしつける。
- ・「更生」というのが本当に本人に出来ているのか。又、少年の場合、その両親に問題があるのでは、その点を注視すべきである。
- ・まずは各家庭において子供にもっと関心を持つべきではないかと思う。
- ・自分の子供の事も知りたい
- ・今回の様な研修会等を行い、理解度を増やす
- ・家庭環境ともしっかりと踏み込んだ活動ができることを重視
- ・被害者本人・家族に定期的に知らせる
- ・加害者の人権を尊重すべき。厳罰するべき。人を殺したら、それだけ罰を受けるのが当たり前。
- ・社会全体が命に対して感謝する気持ちと思いやる関心をもつ学びとする子どもを育てようと体制を作る。
- ・あたりさわらずの気持ちを変えないといけない。
- ・現意識の活性化が必要。
- ・世間に現状を訴えていくべき。
- ・家庭と学校との間での連絡を密にする。
- ・被害者参加制度、少年審判の傍聴等の浸透により少しずつ改善していくと思う。
- ・まず自分達の力が(家族)で加害者を出さない様注意すべき。
- ・マスコミがもっと取りあげること、取り上げさせること。
- ・役員が毎日子供に気をつけて話し合いする事
- ・むづかしいです。
- ・PTA学校(先生) 家庭の話し合いがあればよい。
- ・もっともっと被害者の方たちと接し話し合いを聞く事で広げて行きたい。
- ・国がもっと考えてあげてほしいです。

(3) 今後も同様な講演会を開催した方がよいと思いますか？

回答

- ・大いに開催してほしい。講演者をまじえたディスカッションを1時間程度ひざをつきあわせて出来たらよいと思いました。
- ・思う。(14名)
- ・実際に被害にあわれた方から生の声を聞くことは他の何よりも効果があると思う。理論ではない。
- ・犯罪をなくすと云う考えは皆同じであり、地域で防ぐよう努力しないといけない。
- ・子育てのポイントになるようなお話をより具体的に聞いてみたいです。
- ・多いに実態を知る機会をつくるべき。
- ・今後もどんどん講演会を開いてほしい。
- ・年1・2回程度は
- ・何年かに一度は聞きたいものである。
- ・日頃のボランティア活動を見つめる為にも開催して下さい。
- ・開催した方がよい。(5名)
- ・中学生や高校生にも講演をしていただきたい。
- ・はい(2名)
- ・学校でされてはどうか。中・高では犯罪(殺人)は死刑の話。小では鑑別所の話。
- ・必要と思う。被害者から聞くことになる(加害者の生活環境や行動がわかれば、地域の見守りになると思う。)
- ・荒れた学校又、教職員等については是非出ていただいて思いを伝えて下さい。
- ・お願いします。
- ・わからない。
- ・ぜひ続けて下さい。
- ・講演の内容で経験された方の生の声が参考になると思います。今後ともよろしく。
- ・この様に実際の当事者であった方の講演は説得力があって又感動した。又の開催を望みます。
- ・一般の人も参加を呼びかけ、多勢の人に知ってもらうべきです。
- ・思う。特に、学生やこれから親になる者へ。
- ・身近な事態にどのように目を配り心がけたらよいかということなどに関して、教えていただいたので、時々開催されるとよいと思います。体験談などはよくわかりやすいと思う。
- ・もっと幅広く活動してほしい。
- ・良いと思います。PTAなどを通じて、子供の親たち先生たちに聞いてもらいたい。
- ・今後このような講演会をする事です。
- ・大変勇気のいる講演者で貴重な話である。
- ・もっと大きな力となっていただきたい(特に中学校、高校)
- ・大いに開催の機会を作っていただけたらありがたいことです。

回答

・今日は幼稚園、小学校、中学校に協力者会議が設立されました。先生の都合のよい方向ばかり、よく調べてみると、教育委員会のいいなりで全然児童福祉法の中での項目と合わないので地域の関係機関が地域の子どもは、地域で守る取組が大事

・一井さんの体験談は大変心にひびく話であって、もっと多くの若者に話を聞いてもらいたいと思いました。つらい気持ちを持ちながら、きっと同じことのないように子どもへの恩返しでお話をされつづけておられるのだと思い、涙しました。幼稚園の現場にいる指導者のひとりとして、大切に受け止め親子への心の教育に努めていきたいと痛感しました。企画された方にもありがとうございました。

・学校に対する不信感。学校内の出来事は学校で、地域の出来事は地域（家庭）で。

・私の子供は小一の時、同級生のいたずらの目撃者でそのもみけしでいたずらした子の母親に精神的苦痛、ケガを負わされました。「絶対、許さない」ということば、心にひびきました。

・見て見ぬふりに加害者であることを痛感した。

・子ども安全リーダーとしての参加させていただいたので、あまり有意義ではなかった。

・加害者になってしまう子供達をどう指導するべきか、未然に防止しなければならない。

・当事者が広めていかないといけない現状は、つらく、大変な事だと思います。それでもされている方々に敬意を表します。何か自分の中でも考えていく、大きな機会となりました。ありがとうございました。乱文ですみません。

・自分の立場に振り替えて見て、これからも今まで以上に子供達と接するように又、気持ちの理解をするように努力したい。

・一井さん、本日は本当にありがとうございました。このように講演の毎に息子さんをなくされた悲しみと、加害者そしてその親に対するいきどおりが噴出することと思われ、それでも皆に伝えなければならない、その思い、痛いほど感じさせていただきました。少年の犯罪の大きな影響があるのがその両親だと思います。これは“世の中を変える”という大変な困難なことと思いますが、勇気と信念と見える息子さんの遺志をもって、あきらめず、これからも命の重さ、人を変える活動、祈念いたします。

・登下校の見守りをしているが、子供に声をかけ、子供の居場所作りが少しでも出来ていれば、子供達が大きくなっても街ですれ違う時でも、声をかけあえる関係をつくっていききたい。

・この様な話は、心が重たいですが、真実を知ることによって地域の子供や皆を被害者にも加害者にもなってはいけないと思う。もっともっと小さな地域単位でお話が聞ければいいと思います。

・素晴らしい活動をされていると思います。犯罪被害者といっても、道を歩いていて飲酒運転の車にひき移されたという方と今回の一井さんとは少しニュアンスが違うと思います。

・研修会があった場合、小中学校の先生や補導員の方とも特によく話しあい、犯罪のきざしを一刻も早くつみとるよう犯罪に発生等に充分気配りして明るい社会をつくっていくように。

・事件が発生する以前に、加害者周辺、被害者周辺に何らかの変化がないのでしょうか。事件を未然に防ぐ点からもその点に関心があります。

・私は今後子供達に今までの通り一生懸命子供と話しあいをしてがんばります。

・報道の仕方も考えさせられます。

・交通事故ではありますが、歩行中の妻を12年程前に亡くした者として被害者の話を我が物としてとらえています。被害者家族として立ち直るのに5年以上かかりました。

・加害者関係の人達に聞いてもらうべきです。

・いろいろな少年に関する事件を新聞・テレビなどで知りますが、今日のように実際に被害にあわれた方から生の声を聞き、ズシリときました。遠い所の出来事と思っていましたが、少年どおしの事件という事で、すごく身近に感じました。今はほとんど小学生の子供を対象に活動していますが、もっと違った目で見えていけない事はいけないと注意しなければならないと思う。でもたばこを吸いながら通学している中学生を見ても何も言えない自分が情けないです。